

発艇・整列

～ 審判員心得 ～

1. 競技会の成否は審判員によって決まる
2. 審判員とは失格をとることが任務ではない
3. 審判員は競技規則・使用機材に精通していることが大切である
4. 競技規則に基づき、公正・公平・安全をモットーとする
5. 役員間の連携を密にする
6. 服装は大会ごとに決められたふさわしいものとする
7. よりよい人間関係は大きな力となる

公益社団法人日本カヌー連盟 公認審判員の手引き

< 発艇員の基本事項 >

- 発艇に関する全ての事項及び発艇の適否を決定する。
- 発艇に関する発艇員の決定は、最終のものである。
- 不正発艇があった場合、再発艇を行う。同一艇が2度不正発艇した場合、当該競技種目を失格とする。
- 競技に関して選手を失格にできるのは、競技委員会と発艇員のみである。

< 整列員の基本事項 >

- 発艇責任者と連絡を取り、整列の責任を負う。
- 組み合わせ・プログラム訂正・棄権・選手変更を事前に確認する。
- 競技が遅滞しないよう艇を発艇線上に集合させ、選手のユニフォーム・ゼッケン番号及びカヌー艇番号をチェックする。

* 発艇要領 (例) *

分担	事項	内容
整列員	<ul style="list-style-type: none"> • 3分前コールを競技本部・決勝審判長へ連絡・確認 • 選手確認 ゼッケン、艇番プレート、ユニフォーム、ライフジャケットの確認 • 選手が確認できない場合は再度コールを行う • 選手の確認状況を競技委員会(競技本部)へ連絡 	<p>『只今から、第〇レース、<u>少年男子予選〇組目の選手確認</u>を行います。1レーン〇〇さん、2レーン△△さん、……』</p> <p>選手からの返事に『はい』と答え、服装等の確認。 ※「よし」ではない。</p> <p><u>*異常なしの場合</u></p> <p>発艇員に「選手の確認終わりました。」と連絡する。</p> <p><u>*異常ありの場合</u></p> <p>当該選手に注意を与え、その理由を聞き競技委員長に報告し、指示を受ける。</p> <p>『発艇 3分前です。』</p>

発艇員	<ul style="list-style-type: none"> 発艇 1 分前とする旨を競技本部・決勝審判長へ連絡 	<p>〔競技委員会(競技本部あて)〕 「○レーンの△△さん□□高校、確認できませんが○名の選手で発艇します。」</p> <p>〔競技本部・決勝審判長あて〕 「第○レース発艇 1 分前とします。」</p> <p>『発艇 1 分前、発艇 1 分前。全艇、発艇線に艇を揃えてください。』 『○レーンまえ。○レーンあと。』</p> <p>『レディ・セット…(発砲)』</p> <p>『全艇発艇しました。』</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 発艇状況を、競技委員会(競技本部)へ連絡 	

不正発艇による再発艇要領(例)

分担	事項	内容
発艇員	<ul style="list-style-type: none"> 発砲後、不正発艇が確認された場合は、直ちに 2 度目の発砲をして全艇ストップさせる。 	<p>2 度目の発砲と同時に『全艇ストップ』選手を停止させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 選手、競技委員会(競技本部)に連絡。 	<p>〔競技委員会(競技本部)あて〕 「第○レース○レーンフライングの為再発艇します。」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 選手には手やパドルを上げさせるなどして確認を行う。 	<p>『○レーン△△さん□□高校、フライングの為再発艇します。』</p> <p>発艇補助員にフライングの赤旗を掲示させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 競技委員会(競技本部)・決勝審判員へ連絡・確認。 	<p>〔競技委員会(競技本部)あて〕 「○レーン△△さん□□高校、フライングの為再発艇します。準備はよろしいでしょうか。」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 発艇 1 分前からやり直す。 	<p>〔競技本部・決勝審判長あて〕 「第○レース発艇 1 分前とします。」</p> <p>『発艇 1 分前、発艇 1 分前。全艇、発艇線に艇を揃えてください。』</p>

